

初参加から66年 日本スケート初!

2月10日
火曜日
1998年
(平成10年)
PM8:00

日刊スポーツ NIKKAN SPORTS インターネット号外



男子五百メートル
五輪新連発



161センチの世界最速男



アウト35秒76 イン35秒59 完全制覇だ

スピードスケート

男子五百メートル	1回目	2回目	合計
1 清水 宏保(三協精機)	五 35秒76	五 35秒59	1分11秒35
2 ウォザースプーン(カナダ)	36秒04	35秒80	1分11秒84
3 オーバラント(カナダ)	35秒78	36秒08	1分11秒86
4 S・プシャル(カナダ)	35秒90	36秒10	1分12秒00
5 P・プシャル(オランダ)	35秒96	36秒09	1分12秒05
6 フィッツランドルフ(米国)	35秒81	36秒39	1分12秒20

清水宏保 1974年2月27日生まれ。帯広市出身。幼稚園のときに父・等さん(故人)の指導でスケートを始める。帯広白樺高校2年のとき全国高校選手権、国体とも千、千五百メートルで優勝した。92年日大に進みインカレ千、千五百の2冠を達成。93年2月のW杯ハセルガディヒネ大会では五百で初出場初優勝の快挙を成し遂げ、同月の世界スプリント選手権総合3位。同年、94年シーズンにはW杯第1戦のベルリン大会で6勝をあげ総合優勝。97年W杯インツェル大会五百の最終戦で優勝し、総合優勝。4人兄弟の末っ子。独身。

日本勢金メダル1号が誕生した。スピードスケート男子五百メートルで日本のエース清水宏保(23「三協精機」)が五輪新記録の35秒59をマークし、1回目との合計タイム1分11秒35で優勝。日本スピードスケート界に史上初となる悲願の金メダルをもたらした。清水は、得意のロケットスタートで百メートルを全選手トップの9秒54で通過し、後半もスピードにのってフィニッシュ。9日のタイムを上回る最高の滑りで世界最速男に輝いた。